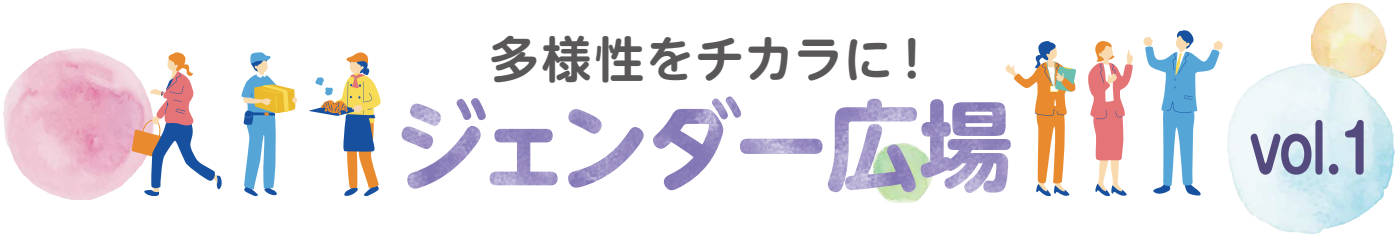

多様性をチカラに！ ジェンダー広場 vol.1

『ジェンダー平等』は普遍的価値であり、サステナビリティや経済の合理性の観点からも取り組まなければなりません。ジェンダー主流化委員会では、開かれた議論による課題の認知・共有を通じて、ジェンダー主流化の視点を養いながら、ジェンダー平等の実現を目指します。
より多くの皆様に関心をもっていただけるように、情報を発信していきます。

ジェンダー用語の基礎知識

参考:内閣府男女共同参画局「みんなで目指す! SDGs×ジェンダー平等」「第5次男女共同参画基本計画　用語解説」

ジェンダー平等 Gender Equality

ゴール

性別に関わらず、平等に責任や権利や機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めてゆくこと

SDGsの中で特に重要な目標として位置付け

▼SDGs全体の「目的」
▼17のゴールを全て実現するための「手段」
▼一つの独立したゴール

ゴール5「ジェンダー平等の達成と全ての女性及び女児のエンパワーメント」

・性別による差別を無くし、すべての女性と男性が対等に権利・機会・責任を分かち合える社会を作ること
・女性が自分のことを自分で決めながら生きる力をつけられるようにすること

ジェンダー主流化 Gender Mainstreaming

プロセス

あらゆる分野でのジェンダー平等を達成するため、全ての政策、施策及び事業について、ジェンダーの視点を取り込むこと

国際的なみちのり

2015	国連「持続可能な開発目標（SDGs）」採択
1997	国連経済社会理事会「ジェンダー主流化」定義
1995	北京世界女性会議「北京宣言」「行動綱領」採択
1979	国連総会「女子差別撤廃条約」採択
1946	国連「婦人の地位向上委員会」設立

ジェンダー Gender

定義

「社会的・文化的に形成された性別」のこと
生物学的性別（セックス）とは異なる

座長メッセージ

▶塩澤座長（アサヒビール株式会社 会長）

座長を務めます塩澤です。
今回から「多様性をチカラに! ジェンダー広場」と銘打って連載を開始します。
会員の皆様にとって、基本から応用まで、わかりやすく、皆様にとってお役に立てる情報を掲載できるよう、努めてまいります。ぜひご自身の組織で「これは活かせる」という内容があれば、ご活用下さい。こんな情報がほしい、自組織の取り組みを取材してほしい、といったリクエストや問い合わせ等、遠慮なく事務局までお声がけ下さい。